

平成23年度

## 我孫子中学校学校評価報告

### 1 ねらい

・教育活動、その他の学校運営の状況について評価を行い、その結果に基づき教育活動・学校運営の改善を図る。

### 2 アンケート実施期間 平成23年12月

### 3 対象者 生徒1026名、全保護者1026名(延べ人数)、全教員47名

### 4 回答率(%)

	生徒	保護者	教員
回答数	983名	934名	47名
回答率	95.8%	91.0%	100%

### 5 アンケート結果と考察

#### 【生徒】

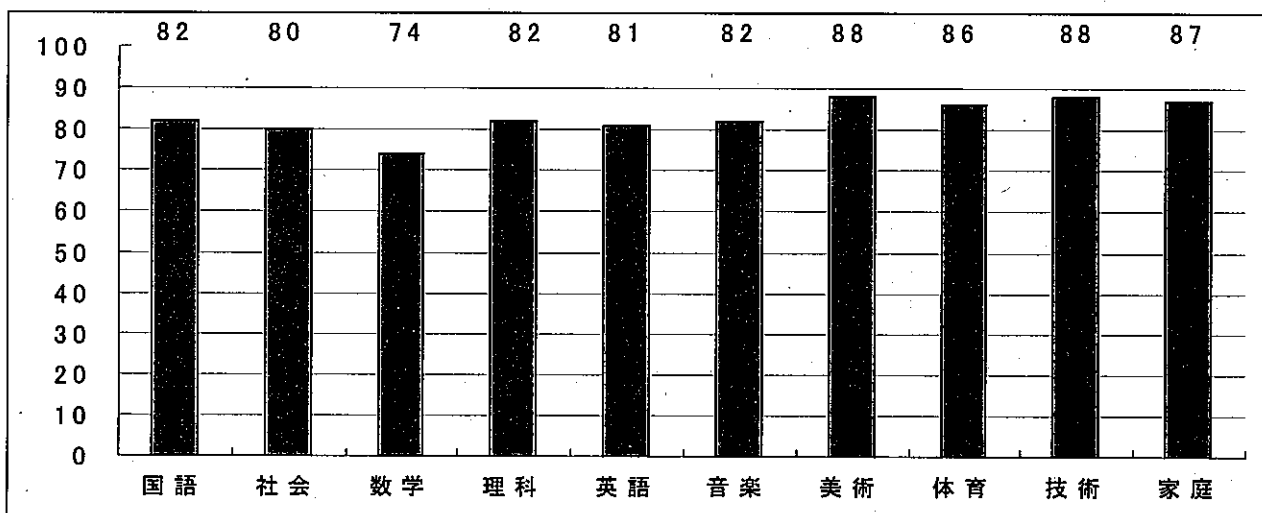
#### I 生徒の各教科への取り組みについて

①質問：興味・関心を持って取り組み、よく理解できる。

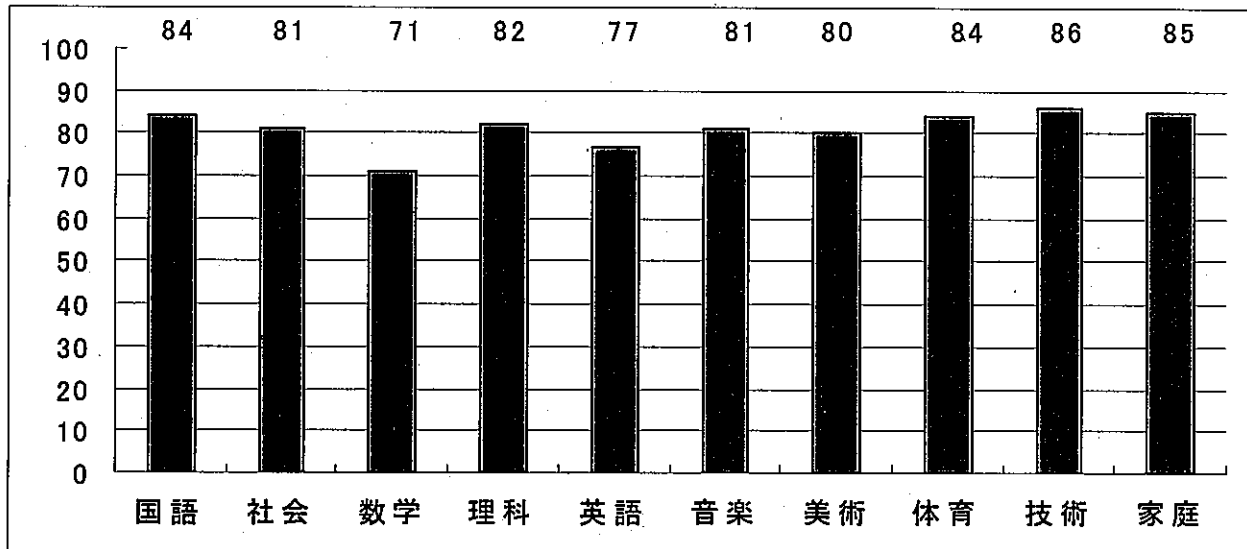
「そう思う、だいたいそう思う」と答えた生徒の割合

全校生徒

平成22年度

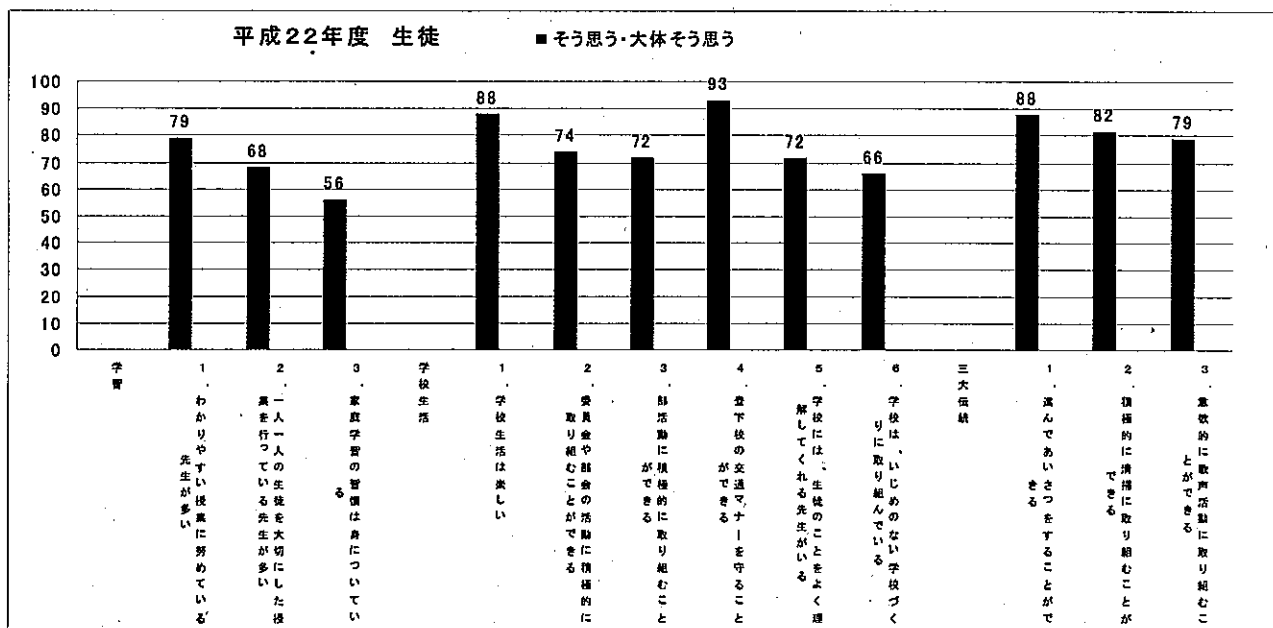


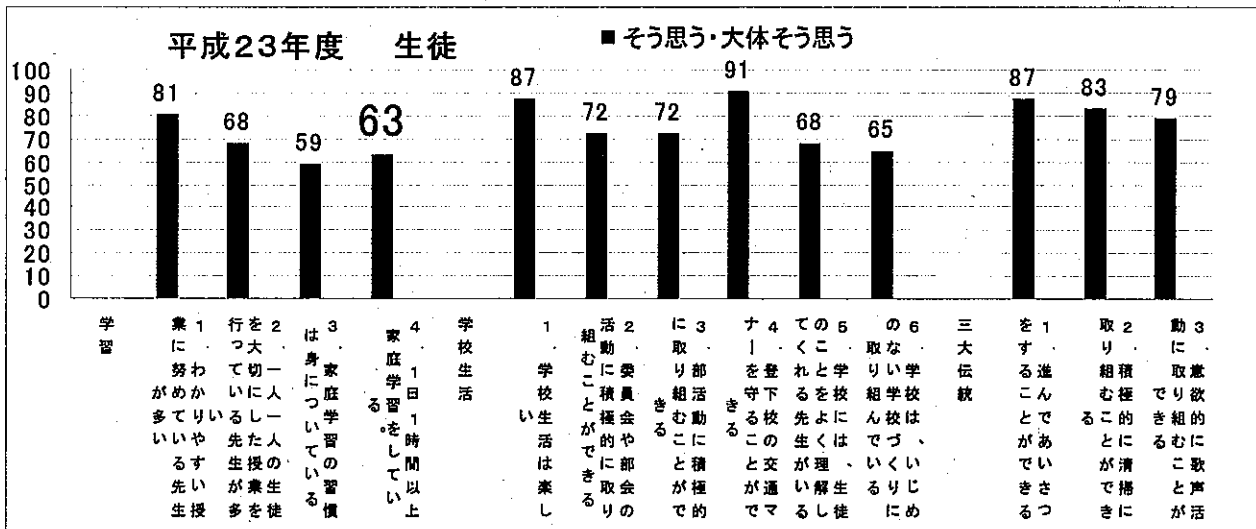
平成23年度



- ・各教科への取り組みに関する自己評価は、おおむね良好である。
- ・社会、理科、体育、技術、家庭に関して、「興味関心を持って取り組む」生徒は、どの学年も 8 割を超える。
- ・数学に苦手意識を持ち、意欲的に取り組めずにいる生徒の割合が多い。
- ・英語に関しては、小学校の英語活動と中学校英語学習のギャップにとまどっているのではないかと考えられる。

## II 生徒の学習と生活について





・家庭学習の習慣の定着についての質問には、昨年度56%から今年度は59%にのびている。3年生に限っては、72%となっている。また、今年度新たに加えた評価項目であるが、「1時間以上学習する生徒」は平均すると63%である。7割以上を目指したい。3年生に限ると82%の生徒が家庭学習をしている。

・学校生活は87%の生徒が楽しいと感じている。また、挨拶・清掃・歌声活動に約80%を越える生徒が取り組んでいる。

・3年生は、部活動を終了しているので、部活動への取り組みの評価が低い。

・「分かりやすい授業に努力している」の評価はおおむね良好であるが、

「一人一人の生徒を大切にする授業」

「生徒のことを理解する教師」

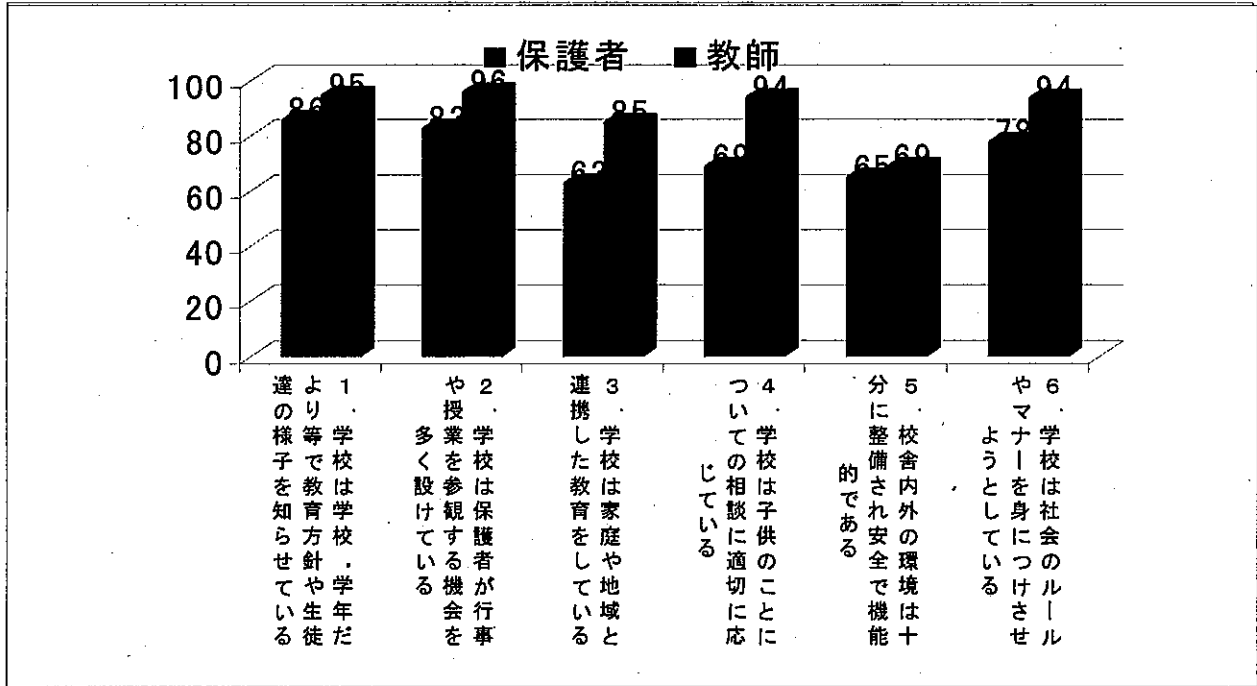
「いじめのない学校づくり」

の評価は、70%を下回っている。昨年と同様の評価であるので、教師がチームとして一層きめ細やかに生徒を観察し、情報交換の時間を作り必要な支援をして行かなくてはならない。

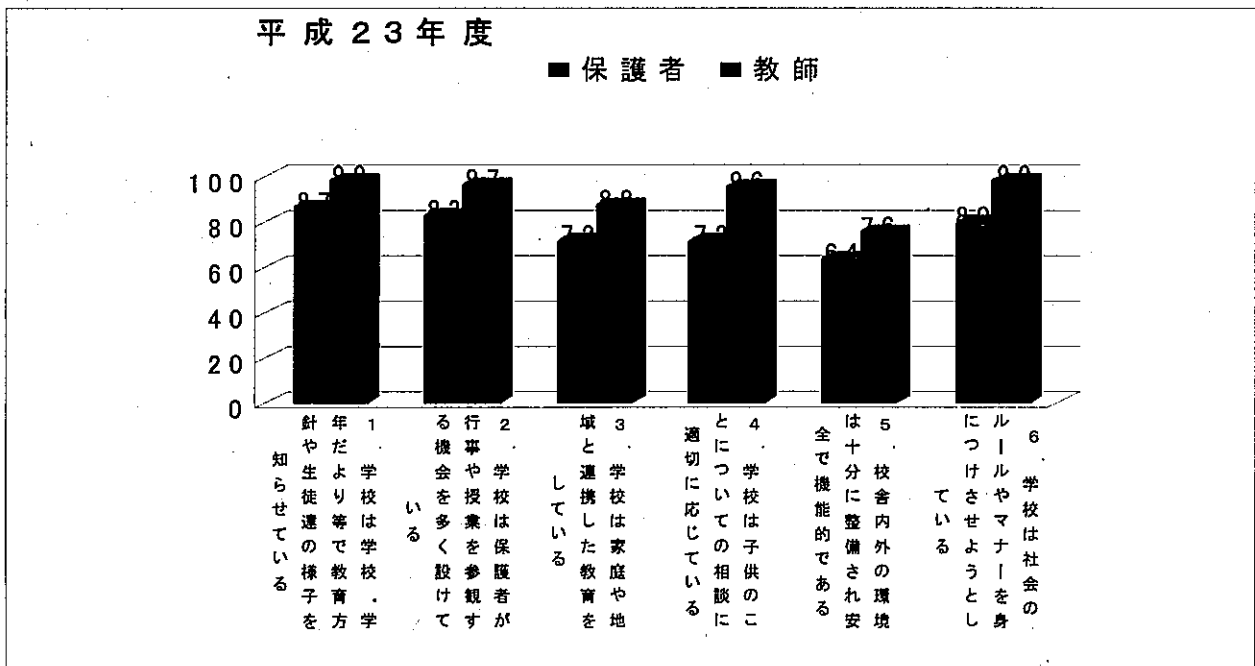
# 【 保 護 者 】

＜教師と保護者と教師（と生徒）の回答を比較してグラフ化した＞

## I 学校運営について 平成22年度



## 平成23年度



(カッコ内は、昨年度よりの増減)

・設問項目の3や4では、わずかずつであるが改善傾向にある。

「3 家庭や地域と連帯した教育」保護者72% (+9) 職員88% (+3)

「4 子どものことについて相談に適切に応じている」保護者72% (+3)

しかし、どの設問に関しても保護者と教師の差がある。特に差が大きいのは、「わが子のことについて相談に適切に応じているか」である。そして、「地域や家庭と連携した教育をしているか」である。教育相談組織の充実と日常的な家庭との連携が一層必要と考える。

・授業参観などの機会に関しては「土曜日開催」を望む声もある。

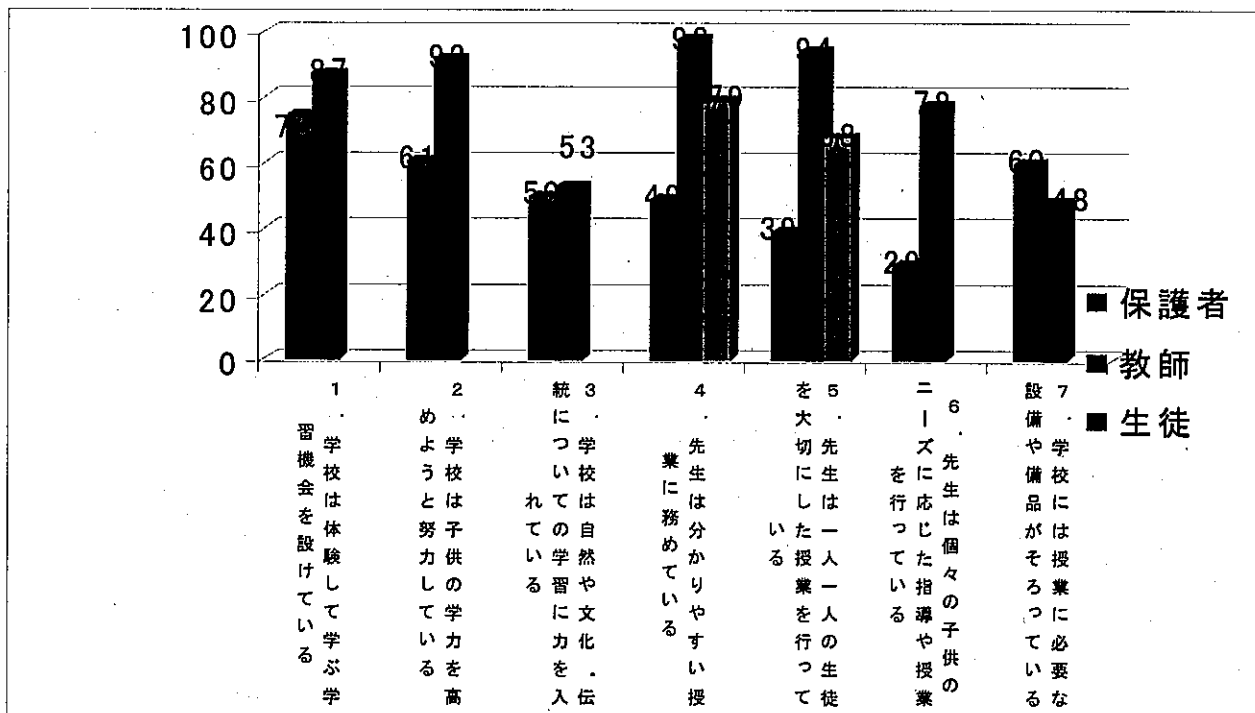
・校舎内外の環境整備は、保護者・教師共に満足行くレベルではないと評価される。今年度は、放射性物質による汚染があったことが保護者の不安要因のひとつと考えられる。来年度は、除染活動も含め必要がある部分はPTAとの協働作業や地域支援本部事業として取り組んでいきたい。

・学校だよりの定期発行、ホームページの更新を頻繁にしたためか、情報公開に関しては評価が高い。

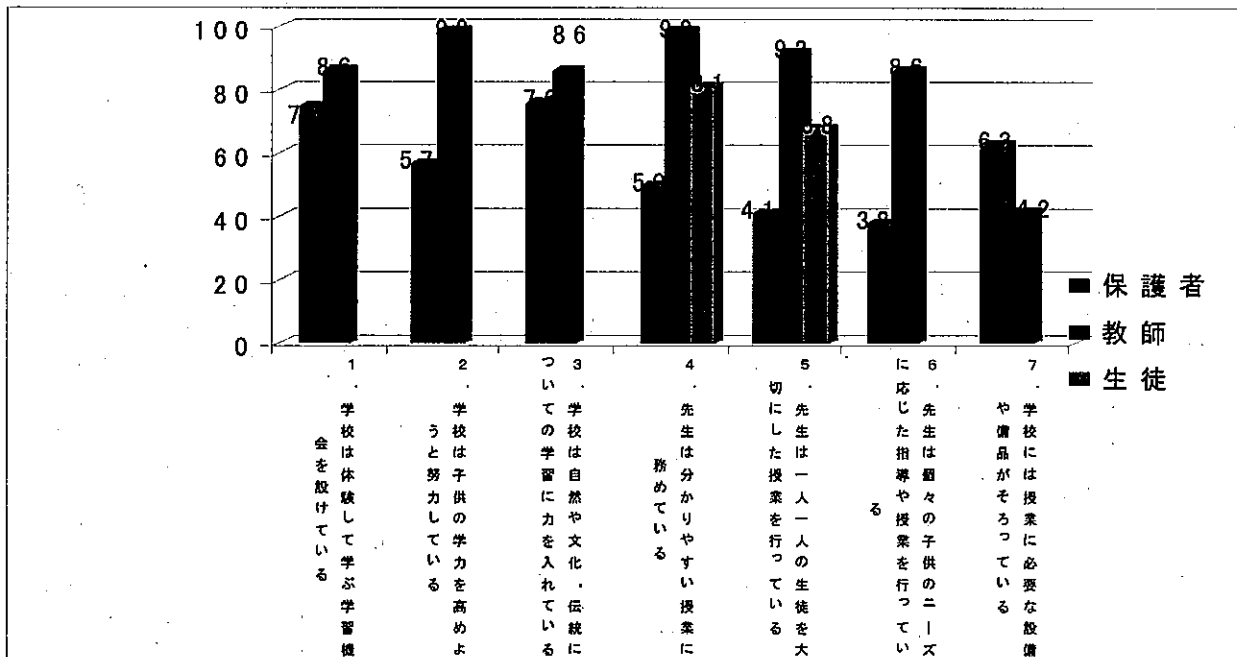
・『6 ルールやマナーを身につけさせようとしてる』80% (+2)は、登下校の様子などを判断した結果と思われる。どのような取り組み・指導をしているかを周知し、協力を求めるような広報活動が必要であると考えられる。

## II 学習指導について

平成22年度



平成23年度



(カッコ内は昨年度よりの増減)

・ほとんどの設問で、保護者と教師の認識の差が大きい。

・「体験活動の機会を設けているか」では75%が、「自然や文化伝統についての学習に力を入れているか」にも、76%(+26)の評価を得ている。これは、「自然や文化伝統についての学習」は、各学年の校外学習や柔道、百人一首、雅楽などであることをアピールした影響と思われる。

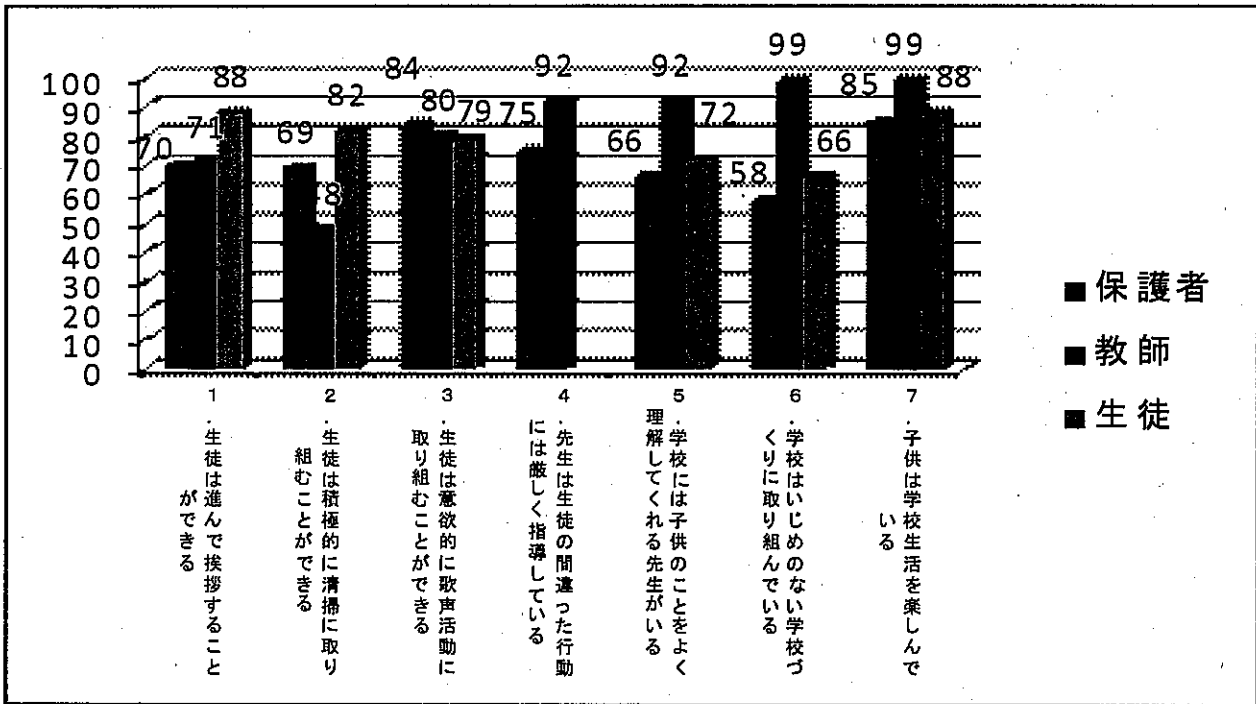
・「わが子の学力を高めようと努力しているか」の評価が昨年同様低いのは、

①学力向上が保護者の関心の大きな部分を占めていること。

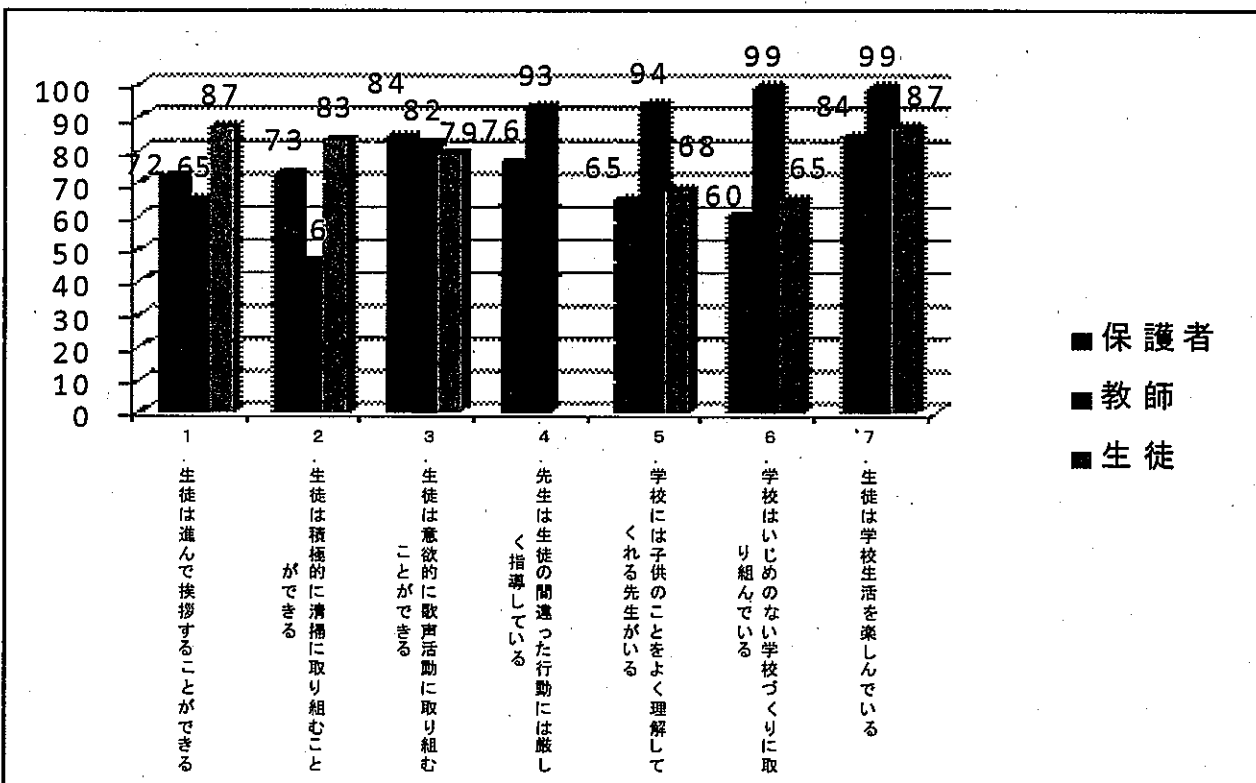
②後述の「分かりやすい授業」、「一人一人の生徒を大切にした授業」、「個のニーズに応じた学習」に力を入れていると評価していることによるとと思われる。教師が、どのような努力・工夫をしているかを分かりやすく伝えること、実際それによって「このように生徒が(生徒の学力が)変わった」といえることが求められていると思う。

・教師は、学習に必要な備品が更に必要と考えている。教室でスムーズに使用できるPCの導入があると良い。

Ⅲ 生徒指導について  
平成22年度



平成23年度

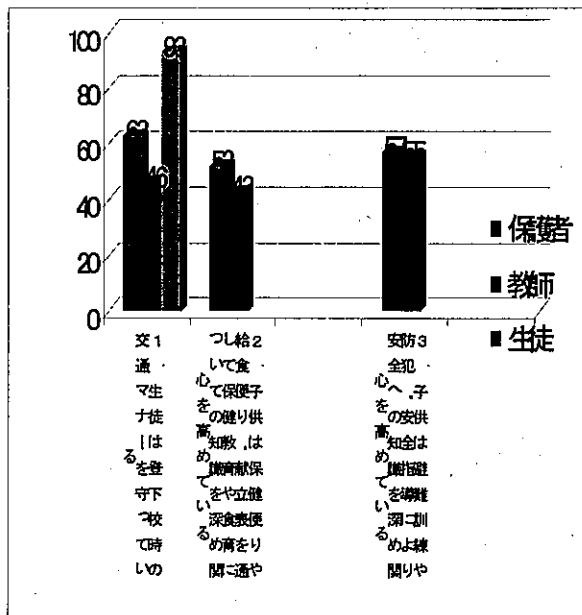


(カッコ内は、昨年度よりの増減)

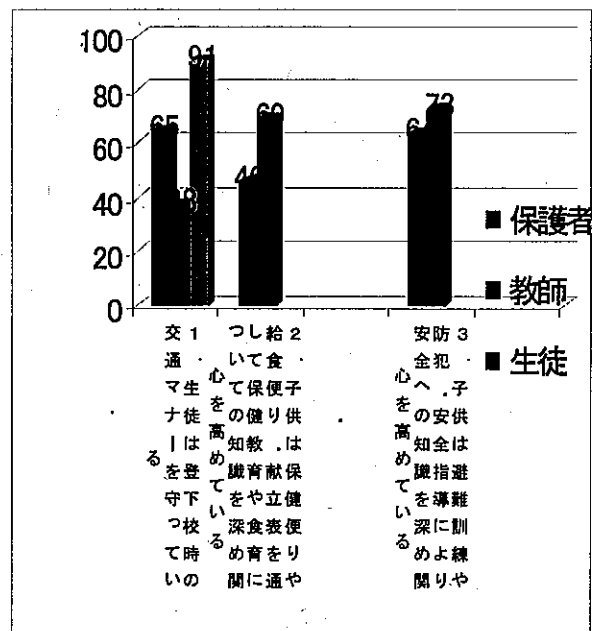
- ・「挨拶」については、生徒はおおむね良好であるが、保護者72% (+6)、教師65% (-6) と低い評価である。学級や部活動以外での挨拶の大切さを再度指導することが必要か。また、保護者の方が来校した際には、ネームプレートをつけていただく工夫も考えたい。
- ・「清掃」について、生徒8.3% (+1) と教師46% (-2) の大きな認識のずれをなくすよう教師が一層細やかな指導をしていく必要がある。
- ・「歌声活動」については、おおむね良好である。
- ・生徒指導に関して、該当する生徒の保護者と継続した連携が一層必要とされる。
- ・「生徒理解」に関しては、保護者65% (-1)・生徒68% (-4) とも評価が低い。教師と生徒との信頼関係構築に努めるとともに、定期的な教育相談のみならず毎日の観察、チャンス相談、生活記録、教育相談等の効果的な活用を進めていきたい。
- ・「いじめ撲滅の取り組み」は、我孫子市で年2回の実態調査をしていることや、学校としても取り組んでいることを広くアピールする必要がある。『学校だより』に掲載したり、『生徒指導だより』に取り組みを紹介していくことを考えたい。
- ・「学校生活を楽しんでいる」という設問に関しては、昨年度同様、三者ともに学校生活が楽しいという割合が84%以上である。さらに多くの生徒が、「楽しい」と感じられるように努力していきたい。



IV 健康・安全面について  
平成22年度



平成23年度

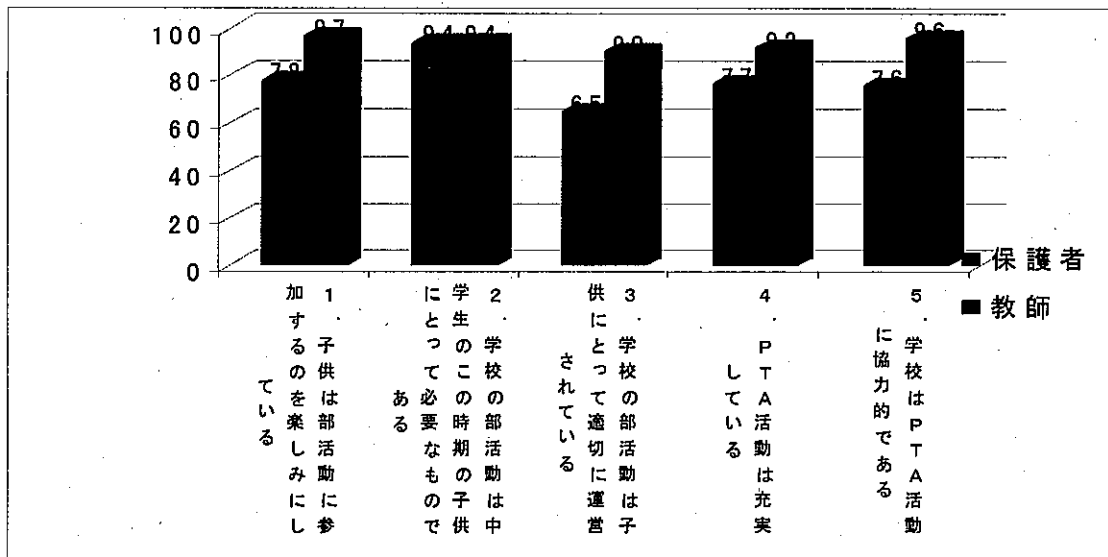


・登下校のマナーに関しては、保護者、教師の意識と生徒の意識が大きく違っている。生徒は守っている90%という認識であるが、保護者65% (+5)、特に教師はマナーは良くない38% (-8)という認識がある。これは、特に徒歩通学者は歩道の幅・交通量に応じたマナー、集団になったときのマナー、自転車通行のルール遵守の徹底などを行っていきたい。これが、命を守ることにつながることを認識させたい。

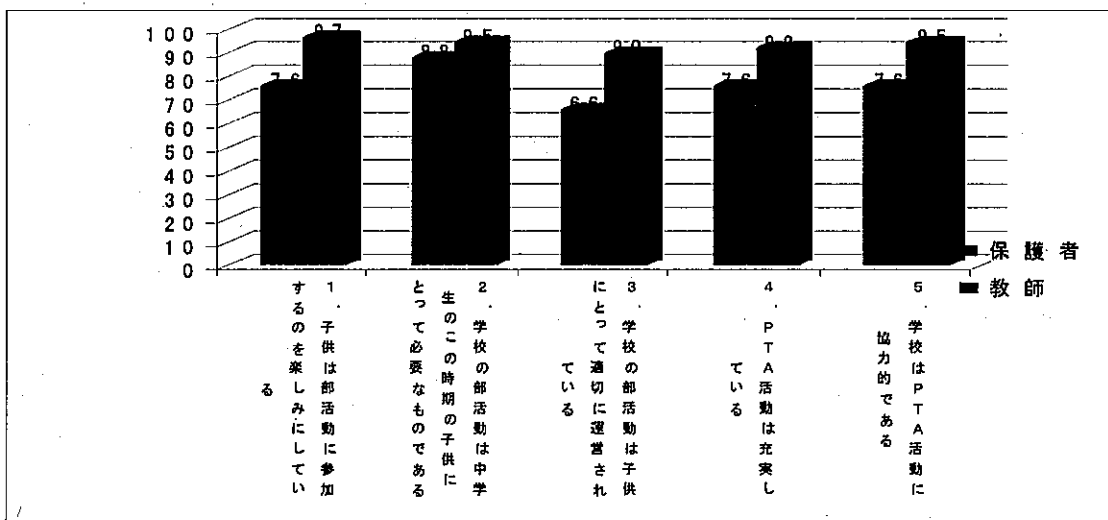
・保健だより、給食だよりを配布しているだけでなく、その内容を指導するなど一歩踏み込んだ取り組みが必要である。

・防犯、安全指導に関して、防犯・安全予知能力の育成まで日頃の生活・学習で指導していかなくてはならない。

V 部活動・PTA活動について  
平成22年



平成23年



・中学校の時期の部活動の大切さは良く理解していただいている。部活動の運営や予定表の配布時期、顧問教師の言葉遣いなどに関して多くの意見を頂いている。また、「部活動をやり過ぎ」、「もっと部活動を厳しく」と両者の意見も頂いている。

・PTA活動に関してはおおむね良好と考える。ただ、PTAだよりの内容の改善を求める意見がある。

## 保護者アンケート自由記述より

### <内容と考察 ・ 改善策案>

#### I 学習指導

##### (1) 学習について行けない生徒の個別指導・補習授業の要望

個に応じた柔軟な対応をお願いしたい。

→指導方法の工夫、グループ活動の積極的活用、放課後の補習授業の検討(特に到達度テスト前)を行いたい。また、長期休業中の補習授業も考える。

また、Q-Uの調査資料を活用する。

##### (2) 教科担任による授業進度・進め方の差の不安

→シラバスや年間指導計画を教科部会で随時確認し進度調整を図る。また、指導方法や教材の共有化を進める。

##### (3) もっと魅力的な授業で生徒のやる気を引き出して欲しい。分かりやすい授業の展開を求める。

→教材の提示、興味関心を引くためのICT機器の活用、グループ学習を進める研修、教材研究。学習課題の明示と確認。

##### (4) 学習指導の時間を増やすべきではないか(部活動の時間を使いすぎ、バザーや駅伝応援より授業優先ではないか)

→授業時数の確保を進める。また、行事の精選の検討している。具体的には、到達度テストを一日で実施、東葛駅伝全校応援の中止を検討している。

##### (5) むやみに多い漢字練習をさせられる。

→漢字学習の必要性を生徒に丁寧に指導する。また、教科部会でも、漢字練習・テストのあり方を共通理解する。

#### II 生徒指導

##### (1) 挨拶が少ないように思う。

→「挨拶がしっかりできている」という意見もある。生徒自身も87%が、挨拶がおおむねできていると答えている。部活動や学級でできる挨拶を、一人になったときもできるような力を身につけさせるように指導していく。教師が挨拶を返さないという意見もあるので、率先垂範を教師に求める。

##### (2) 自転車通学者のマナーが悪い、学校から離れるとノーヘルになる。

→今年度以上に生徒指導部・安全指導部を、中心に全職員で校外指導期間や巡回をし生徒の安全意識を高め、危機予知能力を高める指導を進める。

マナー違反や事故事例を分析し指導方法を検討したい。

- (3) 外掃除を見ていると、きちんとしている生徒とそうでない生徒との差が大きい。  
→掃除に関して、生徒は83%、保護者は73%、教師は46%がおおむね満足という評価である。清掃＝奉仕活動の大切さ、自分の分担をやり切る責任感をしっかり育てていきたい。  
※今年度、放射能のこともあり生徒が清掃ができる場所が少なくなったことも原因と考えられる。分担の工夫を考えていきたい。
- (4) 防寒用のハイソックスなど柔軟な対応をして欲しい。  
→柔軟に対応する。これ以外、雨天時の長靴、雨が続いて乾かない場合の予備の靴など柔軟に対応したい。

### Ⅲ 部活動

- (1) 到達度テスト前の停止期間を1週間にできないか。  
→現状通り、3日間の停止期間でいきたい。分かりやすい授業づくりにつとめ、到達度テスト取組表を活用し、計画的に家庭学習を進めるよう指導する。
- (2) 部活動をやり過ぎではないか。土曜日・日曜日にも練習があり家族の時間が持てない。
- (3) 部活動をもっとして欲しいという意見もある。顧問によってやる気の差が大きい。  
→中学生のこの時期の部活動の大切さは、保護者も88%が必要と思っている。大会などの日程が混み合い休養がとれない週は、他の週に移すなど生徒の体調管理、家庭に返す時間など工夫して指導に当たりたい。
- (4) 練習日程をもっと早く出して欲しい。  
→保護者の方の要望としてもっともなことである。希望に添うよう、我孫子中部活動運営規定のひとつに月予定の配布を盛り込んでいきたい。
- (5) 気分(機嫌)によって顧問が怒る。露骨にえこひいきをする。レギュラーに力を入れ他はほったらかしである。呼び方が違う。  
→熱心に部活指導に当たる教員集団には頭が下がる。部活指導も生徒の心身を鍛える場であるから教師の言動が誤解を与えないよう配慮していく必要がある。叱られたことを生徒が納得できるようにしていく。
- (6) 東葛駅伝は別としても、駅伝大会に強化選手を出すのはいかがなものか。  
→東葛駅伝後に葛南駅伝があるので選手として強化選手を出している。今後駅伝部員の気持ちを考えながら進めていく。